

## 服装

### ヴォクマ・ジョセリン (ブルキナファソ)

ブルキナファソでは、きちんとした服装をすることはとても重要です。服装はその人の印象を大きく変えるからです。ですから、人の上に立つ人、社会的あるいは政治的に重要なポストにある人は、一般人と同じような服装をするわけにはいきません。上等な身なりをしていると、会う人、あるいは知っている人からある種の尊敬を受けます。服装に関する理論は、アフリカ全体では、人によって異なった意味合いを持っています。加えて、アフリカはとても暑い地域です。貧しい環境にあるにもかかわらず、人びとは幸福に暮らしており、日々のライフスタイルはとてもシンプルです。ブルキナファソの人びとの服装を見ると、日常生活における「衣」の楽しみが、この国の歴史と文化に拠っていることがわかります。男性、女性、若者、子どもたち、それぞれの服装には、伝統的なもの、ヨーロッパ式のもの、アラビア式のもの、そしていろいろな様式が混ぜ合わさったものがあります。

人びとは日々の暮らしの中で、それぞれに自分の好きな服装をしています。宗教的な服装もあります。イスラム教、キリスト教、多神論者は、それぞれに異なった服装のスタイルを持っています。「服装」は基本的に、社会的な地位やその人が何をするのかによっても違ってきます。会社に行く、教会に行く、儀式に出席する、そういった場合すべてに同じ服装で出かけることはありません。制服がある場合もあり、そういう時は全員がその制服を着用します。その組織を大切に思っていることの証となるのです。年齢を問わず男性は同じような服装をし、女性もまたそうです。ブルキナファソには約 65 の民族が存在し、それぞれの民族が自分たちの織物と服装様式を持っています。

情報通信文化省は、手工芸の織物製品部門の立ち上げを現在進めています。こういった類の織物で作られた衣服を好んで着ている人もいますが、支援をしていかなければ、国家経済のなかでこの分野を成長させていくことは難しいでしょう。ブルキナファソの人びとは、昔からの服装を捨て去ってはいません。伝統的な服装を守ることにつながるような習慣が日々の生活の中にあります。毎日の生活のなかで、あらゆる種類のスタイルを、都市部でも農村部でも目にすることができます。国中のあらゆる場所に公務員がいますので、基本的に都市部と農村部で服装のレベルにギャップはありません。

織物のカッティングの仕方はさまざまです。伝統的に、ブルキナファソには手工芸の織物が 2 種類あります。ダンファニ(綿織物)とトゥントゥンファニ(綿と絹を織り合わせたもの)です。地元の言葉でファニとは薄い織物のことを言います。ダンは布を織ることで、それぞれの民族が独自のダンファニとトゥントゥンファニを持っています。またそれぞれの民族は、その下のさらに小さいグループに分かれています。

ヨーロッパの古典的な服装に加えて、ブルキナファソの女性たちは私たちが *buboes*、*abbaya* 「グランドマザー (おばあさん)」と呼んでいるものを着ます(これは文化的な意味

のある、とてもステキなドレスです)。男性の服装は、ほとんどの民族が、彼らの言葉で kurug と呼んでいる、Moose という伝統的なズボンをはき、その他にネクタイやシャツ、スーツなど、ヨーロッパの標準的な男性の服装もします。子どもたちの服装は伝統的ではなく、現代的です(ジーンズ、Tシャツ、パンツ、半ズボン、ドレス(これは女兒のみ)など)。しかし、すべての親が自分の子どもにいい服を着せられるわけではなく、親の社会的な地位によって、子どもたちの服装にも違いがあります。ブルキナファソでは、1年に1ヶ月、団結の期間があり、社会活動省が一部の家庭に衣服を支給し、誰もがこれを手本にしていろいろな物を分かち合い、暖かい気持ちを持つと呼びかけています。

現在、ブルキナファソはグローバル化の真ただ中にあります。人びとは自分たちの伝統を大切に守り続けていますが、服装における伝統を守り続けることでブルキナファソ国民が世界の他の人びとから孤立するということはありません。国家計画の中には、農村部の織物業を促進させるプログラムが策定されており、伝統的な手工芸による織物製品の価値を高めるため、多くの機関が開設されています。ブルキナファソの人びとは、自分たちの服装を誇りにしています。